

## 令和2年度第3回岩手県政策評価専門委員会

(開催日時) 令和3年2月10日(水) 10:50~11:30

(開催場所) 盛岡地区合同庁舎8階 大会議室

### 1 開 会

### 2 議 事

(1) 令和3年度における政策評価及び事務事業評価の実施について

(2) 令和3年度政策評価専門委員会の開催予定

(3) その他

### 3 閉 会

出席委員

吉野英岐専門委員長、斉藤徹史副専門委員長、市島宗典委員、工藤昌代委員

西田奈保子委員

欠席委員

竹村祥子委員

## 1 開 会

**○北島政策企画課評価課長** それでは、定刻となりましたので、ただいまから令和2年度第3回岩手県政策評価専門委員会を開催いたします。

私は、評価課長の北島でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の専門委員会でございますが、ウェブ会議システムによる出席の委員を含めまして、御出席いただいている委員の皆様は5名でございます。委員総数6名の半数以上に達しておりますので、政策等の評価に関する条例の規定により、会議が成立することを御報告申し上げます。

次に、資料の確認をお願いいたします。本日の資料ですが、次第、名簿、座席表、それから資料1は、来年度における政策評価及び事務事業評価の実施について、資料2は来年度の委員会の開催予定、資料3が政策推進プランと政策評価の取扱いについてという資料になります。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

## 2 議 事

(1) 令和3年度における政策評価及び事務事業評価の実施について

**○北島政策企画課評価課長** それでは、条例の規定により会議の議長は専門委員長が務めることになっておりますので、以後の進行は吉野専門委員長にお願いいたします。よろしく申し上げます。

**○吉野専門委員長** 引き続きよろしくお願いいたします。ほかの専門委員会は、今日は開かないということでしたので、この政策評価専門委員会のみ引き続いて開催しているところですので、お残りいただきましてありがとうございます。

それでは、資料がお手元にあると思いますので、この次第に従って議事を進めてまいります。

まずは、議事の（１）、令和３年度における政策評価及び事務事業評価の実施につきまして事務局から御説明をお願いします。

#### 〔資料１に基づき説明〕

○吉野専門委員長 ありがとうございます。それでは、委員の皆様から御質問あれば受け付けたいと思います。いかがでしょうか。

「なし」の声

○吉野専門委員長 よろしいでしょうか。後ほど資料３でもまた説明があると思いますので、本年度の進め方、本年度の評価に関する基本姿勢について、基本的な考え方については、資料１のとおりでよろしければ次に進みたいと思います。よろしいですか。

「はい」の声

○吉野専門委員長 ありがとうございます。

#### （２）令和３年度政策評価専門委員会の開催予定

○吉野専門委員長 それでは、続きまして資料２に基づきまして、来年度ですね、令和３年度政策評価専門委員会の開催予定について、また御説明をお願いいたします。

#### 〔資料２に基づき説明〕

○吉野専門委員長 ありがとうございます。資料２に基づきまして、来年度の会議の開催予定及び検討会議の開催を予定しているというようなお話がありました。この件で御質問ありますか。これちょっと先のことは分からないのですけれども、コロナの終息があった場合でもリモートというのは、県としては何か方針はあるのでしょうか、継続できるのかどうなのでしょう。

○廣田政策企画課主任 昨日も総合計画審議会でお話しさせていただきましたようにデジタルトランスフォーメーションですとか、そういったところの取組は進めていくところですので、委員の皆様のお意見を伺いながら開催方法についてはその都度検討させていただければと思います。

○吉野専門委員長 ありがとうございます。７月はまだちょっと厳しそうだなという感じはありますが、来年の２月頃になるともしかしたら事態は少し落ち着いていることも希望的には考えたいところで、そうなるとそのでまた専門委員会が開かれる予定ですが、それは状況を見てということでしょうかね。ということですが、ほかに御質問ありますか。

工藤委員。

**○工藤委員** コロナに関連して、今こうやってウェブでやっていますが、ある意味、やり方がもう一般的に変わったと、時代が変わったというか、やり方が変わってきたと思うのですが、継続して、コロナが落ち着いたとしてもこういう形で遠方の方がウェブでも参加できるような環境をそのまま継続していくという方向だということですか。

**○吉野専門委員長** 北島課長。

**○北島政策企画課評価課長** そのとおりでありまして、見込みなのですけれども、対面とウェブを融合させた形で今後進めていくことになると思います。

**○吉野専門委員長** よろしいですか。

**○工藤委員** はい。

**○吉野専門委員長** ありがとうございます。今回ウェブで御参加の斉藤委員さんは不都合等々ありますでしょうか、ウェブ。いかがでしょうか。

**○斉藤副専門委員長** 御指名ありがとうございます。ウェブで参加しても、いつもと違うところは特に感じませんでした。人と人とのコミュニケーションの感覚に違いは感じました。また、県の方々と直接お話しするとか、そういった機会がなくなることについては、支障がありますけれども、この会議自体に関しては特に不都合は感じておりません。

**○吉野専門委員長** ありがとうございます。

西田委員はいかがでしょう。

**○西田委員** 私も斉藤委員と同意見です。

**○吉野専門委員長** 来年の話はまだ未定なところはありますが、ウェブとの併用もあり得るということでお進めになるということで、特段大きな支障がなければそれも含めてウェブ会議継続もあり得ると、御了解いただければと思います。もちろん来ていただければ一番それが私たちとしてもいいと思いますので、それぞれの県の都合や職場の都合等々があると思いますので、ぜひ環境さえよくなればこちらで対面で開催するのが一番適当ではないかと思いますが、それがかなわない場合はウェブでの開催もあり得るということで御了解いただきたいと思います。ありがとうございます。

### (3) その他

**○吉野専門委員長** そのほかよければ、では続きまして資料3に基づきまして議事を進めていきたいと思っております。資料3、もうお手元にあると思っておりますけれども、新型コロナウイルス

ルス感染症の影響を踏まえたいわて県民計画(2019~2028)「第1期アクションプラン 政策推進プラン」と政策評価の取扱いについての御説明を、それではまた事務局からお願いいたします。

### 〔資料3に基づき説明〕

**○吉野専門委員長** ありがとうございます。資料3に基づきまして今御説明がありました。資料3の裏面といいますか、2ページ目に参考として幾つかの所見が掲載されていて、今御説明ありましたとおり、特にイベント関係は大規模に人を集めてはいけないという中で目標値を出すということ自体がまずは大変難しいということですので、計測方法の変更なのか、あるいはそもそも計測をできないので、計測しないというか、指標から外していくのかなというようなことも含めて幾つかのやり方で新型コロナの影響を受けている指標については見直しをしないといけないだろうなということで、お話ありましたとおり県庁側の方針が出るのが4月頃ということで、それを踏まえて本委員会のほうで検討会議になるのでしょうか、取扱いについて決めていくというようなお話が今示されました。まず、これについて御質問があれば受け付けたいと思いますが、いかがでしょうか。

昨日たまたま総合計画審議会でもこの話が出まして、例えば今の参考の例示としまして若者の関連文化イベントが来場者数で計測する予定でありましたけれども、オンラインの参加者というようなものにしてもよろしいのではないかなというような取扱いの例示が出ておりますが、実は昨日の委員の御発言を見ますと、オンラインにしたら物すごい数になったというような、むしろオンラインでやったことによって、ふだんなかなか会場に足を運べない方々がたくさんいらして、カウントだけを見ると相当増えたというような御発言もありました。ただ、それが実際予測が難しく、どこに目標値を置くのか自体非常に難しく、来場者数とオンライン参加者数というのはどう違うのだろうねと、むしろオンラインでやったら、最初から2倍ぐらいでスタートしたほうがいいのかとか、ちょっとその辺難しい点は残っているのではないかなという感想は昨日のお話を聞きながら受けましたけれども、県のほうからの御意見を踏まえた上でやっていくしかないかなと考えていますが、何か皆様のお近くでこういったイベントあるいは人が集まるものに対してオンラインでやったらこんなに変わったとかお話があれば県のほうの扱いの参考にもしていただけるのではないかと思います。委員の皆様で何か身近ところでございますでしょうか。

工藤委員。

**○工藤委員** 事例として、昨年お酒のイベントをオンラインで行いました。これも県の事業ではあったのですが、本当は盛岡駅の近くの木伏で日本酒のすごく有名な方をお呼びして各酒蔵の人たちと交流して、皆さんにお酒の魅力の発信であったりとか、合わせる料理だったりとかということで実際のイベントをやろうということだったのですけれども、やはりこのコロナ禍で難しいであろうということで、早々にオンラインに切り替えてやっています。

会場には、基本的には酒蔵さんとゲストというか、メインとなる方とスタッフだけが集まって、本当に完全オンラインなのですが、お酒を実際にも買って、そこに岩手県の食材を一緒に入れて、オンライン側の方はそれでレシピもお渡しして、何なら一緒に同

じものを作って食べましようみたいな感じのイベントをしていました。金額が高かったの  
で、本来は若者と、それから女性をターゲットにしてということだったのですが、実際の  
ところは割とある程度収入がある方でないと難しい金額になってしまったので、多分そこ  
らあたりを課題として、今年はまだ少し価格の見直しであったりとか何かするのかなとは  
思っています。

**○吉野専門委員長** 参加者はありましたか。どうでしたか。

**○工藤委員** 告知をツイッターと、それからフェイスブックで行って、集客をイベント関  
連の集客をする、チケットを販売するソフトというか、サービスを使ってやったのですが、  
延べ160セットぐらい、1万4,000円ぐらいのセットが160セットぐらい売れたので、そ  
れなりにいったのだろうなとは思いますが。参加者のアンケートも取っていて、楽しんだと  
いう方もいればちょっと高い、もうちょっと価格を安くということもあったりしましたけ  
れども、そこら辺は課題はクリアしながらやっていくということになるのではないかなと。

**○吉野専門委員長** それは対面でやるのにほぼ同じぐらいの参加者を確保できたような  
イメージですか、それとも多くなったのでしょうか、対面でやっていた人数と比べて。

**○工藤委員** もしかすると多いかもしれないですね。実際にそれなりに酒蔵さんのを買っ  
ていただいたということもあるし。

**○吉野専門委員長** 経済効果も。

**○工藤委員** 経済効果はあまりなかったかもしれない。お金かかってしまって、そちらの  
ほうは。酒蔵さんに実際すごくお金が落ちたかということちょっと微妙なところだったの  
で、実際のところ。なので、そこは課題にはなると思いますが、購入した方が参加する  
ということを前提にしているので、それも購入していない方も参加できるようにとなると  
もっと告知の仕方が変わってくるのだろうなと思います。

**○吉野専門委員長** もし中止していればゼロ円だったわけですね。それを考えると、  
オンラインでやったことでかなりの集客は確保できたと。でも、それは評価は難しそ  
うですね。

**○工藤委員** 参加する人が岩手ではないので、だからPR先をどこにするかということで、  
女性だとか、若者だとかというのは告知先の対象になると思いますけれども、もう県外  
に向けてPRするというのを考えればもしかするとオンラインというのは非常に参加しや  
すいなのかもしれないですね。

**○吉野専門委員長** ありがとうございます。オンラインなりの工夫をしてイベントを開  
催した事例となります。

何かあと御存じの事例などありませんでしょうか。

**○市島委員** 今議題になっているイベントと直接関係するかどうか分からないのですが、コロナ禍になって、私たち学会もほぼオンラインになったり、研究会もオンラインになって、自分自身勉強も兼ねていろんなシンポジウムとか、イベントとはちょっと違うのかもしれないですけども、全国各地でやっている情報が結構メーリングリストで回ってきて、これまで行けなかったようなものも研究室でずっと聞いたり、見たりしているのですけれども、そういうので多いのは上限を設けているものが、何名までしか受け付けないというのがあるので、そういう場合には今回の目標値の設定だとそぐわないので、その辺上限があるかどうかのチェックは必要なのかなと思いました。多分システムの関係だと思うのですけれども、上限を設けているものが多いような印象を受けています。

**○吉野専門委員長** ありがとうございます。対面でやることを今まで当たり前と思っていたので、そういったところとは違ういろんな条件がついているイベントがオンラインで行われていることもあるのではないかということでした。ありがとうございます。

オンラインで御参加中のお二人の委員について、オンラインのイベントというものに対する留意点とか注意点というのは何かありますでしょうか、斉藤先生いかがですか。

**○斉藤副専門委員長** 特にございません。

**○吉野専門委員長** いいですか。

西田先生はよろしいですか。

**○西田委員** 先ほどお話があったオンラインの研修会なのかなと思うのですけれども、例えば対面で継続しているタイプの研修会みたいなものと、1回の対象者数を少なくして、実施回数を当初の予定の倍にするといったような対応があったのがありました。その場合は、参加人数をもし指標にしたとするとほぼ変わらないのですけれども、実施回数というのを指標にすると倍になっているわけなので、だから評価の指標を何で取るかによって、評価結果が変わってくるというのがどうなのかなというのは思いました。それで、通常の対面でやっていたものをリモートに変えたものについては、私が参加したものについては、参加者が増えたというものは結構あったような気がしています。遠方からの参加者という、これまで御参加にならなかったような方たちをお見かけする機会というのが増えたと思っていて、減ったというのは実際にはあまり私は体験しませんでした。ただ、岩手の指標の中には関係ないと思うのですけれども、小さな町村がするようなかなり高齢の方が参加するような会議というのは対面でやれば心配だし、ウェブの環境もないということで、実際には今年開催しませんという判断をなさったところもありました。そういう意味で、参加をするだろうと予測される人たちの見込みによって、かなり左右されるところがあるかなという気がしています。

**○吉野専門委員長** ありがとうございます。そうですね、今のお話、ウェブ環境とか、

そういったことに慣れていない若者層であれば無理なくウェブでも参加が可能ということですが、なかなかそういったことにあまり経験がなかった方々が主に参加するようなイベントでは感染症対策あるいは経験がまだないということで、参加者が減ったり、やらなかったりすることは十分あり得ますので、そこは一律にはなかなか考えられないところもあるなど伺いましたので、指標の取扱いについて、県側の方針が出たときに委員の皆様でいろんな知見を導入して適切にそれは指標として使えるかどうか、あるいは変更でよろしいかどうか御判断をまたいただきたいと思います。

それでは、今のところまだ見直し方針、細かいところが出ていませんので、見直すことがあり得るということをまず念頭に置いていただきまして、出た後でまた結果については御議論をいただきたいと思います。ありがとうございました。

それでは、次回の委員会についての開催方法について御説明がありますので、事務局からお願いします。

**○北島政策企画課評価課長** 来年度、令和3年度の第1回専門委員会について、公開でやるのか、非公開でやるのかということについて、この場で御決定いただきたいと思っております。来年度の第1回目の専門委員会につきましては、先ほど廣田の方から説明ありましたが、主要施策の成果に関する説明書について御議論いただく予定でありまして、意思決定過程における審議でございますので、今年度同様に非公開での開催でお願いしたいなと思っておりますが、いかがでしょうか。

**○吉野専門委員長** 今事務局から御説明ありましたとおり、未成熟な情報を取り扱うという観点から、今年度と同様非公開で開催したいという方針が示されましたが、この案を認めてよろしいでしょうか。

「はい」の声

**○吉野専門委員長** こちらのほうの委員もよろしいですね。

「はい」の声

**○吉野専門委員長** では、オーケーということで、今回は非公開といたしましょう。

**○北島政策企画課評価課長** ありがとうございます。

**○吉野専門委員長** ありがとうございました。今日は、実は公開なのですね。

**○北島政策企画課評価課長** ええ、実は今日は公開です。

**○吉野専門委員長** 今日は公開されております。大きな差はないように見えますけれども、方針は方針ですので、今回は非公開ということをお願いしたいと思います。

それでは、ほかに何か事務局からございますか。よろしいでしょうか、委員の皆様もよろしいですか。

「はい」の声

○吉野専門委員長 ウェブの御参加のお二人もよろしいでしょうか。

「はい」の声

○吉野専門委員長 それでは、予定していた議事は以上で終わりましたので、事務局のほうにお戻ししたいと思います。

○北島政策企画課評価課長 御議論ありがとうございました。

先ほどの政策評価委員会でもお話しさせていただいたのですが、実は今年度の評価というのは新しい計画になって、指標の達成度が出てきたり、県民の実感をどう反映させるかといったことを丁寧に御議論いただいて、政策評価をまずは実施することができたということで、本当にありがとうございます。この場をお借りして感謝申し上げます。来年度につきましても、引き続き基本ラインは変わらないのですけれども、必要な改善をやりながら政策評価をしていきたいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思っています。

### 3 閉 会

○北島政策企画課評価課長 それでは、以上をもちまして令和2年度第3回の岩手県政策評価専門委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。

○吉野専門委員長 ありがとうございました。では、これにて散会ということで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。